

# 第7回新市建設計画策定小委員会

## 議 事 録

# 第7回新市将来構想策定小委員会会議録

## 1 会議を開催した日時及び場所

- ・日 時 平成16年8月30日(月) 午後3時
- ・場 所 長岡市役所第3委員会室

## 2 会議出席委員の氏名

豊口 協	二澤 和夫	大地 正幸	佐々木保男
今泉 實	熊倉 幸男	伊佐 文也	米持 昭次
小方 保	坂牧宇一郎	高野 徳義	五十嵐 徹
野田 幹男	鈴木 隆三	鯉江 康正	小疇 弘一

以上 16名

(欠席委員の氏名)

原田 秀樹 阿部 誠一

以上 2名

## 3 議題及び議事の要旨

別紙のとおり

## 長岡地域合併協議会新市建設計画策定小委員会

事務局（北谷）

皆様、本日はお忙しいところお集まりいただきまして、まことにありがとうございます。定刻となりましたので、ただいまより長岡地域合併協議会第7回の新市建設計画策定小委員会を開催させていただきます。

なお、本日のこの小委員会は、原田委員、阿部委員がご都合によりご欠席となっております。また、小嶋委員が10分少々遅れるという連絡をいただいておりますが、半数以上の委員のご出席をいただいておりますので、規定により会議が成立していることをご報告します。

次に、本日の資料の確認をお願いいたします。事前に会議次第、資料1及び長岡地域新市建設計画(案)を配付しておりますが、資料の方はよろしいでしょうか。

新市建設計画につきましては、協議会に議案として提出して決定した後、市町村の合併の特例に関する法律第5条第3項に基づきまして、県知事に対して協議する手続を行うこととなります。その前段として、前回まで委員の皆様方からいただいたご意見などをもとに整理したものを事務局で事前に県と協議してまいりました。本日は、事前協議の中で若干の修正箇所が出てきましたので、再度事務局で整理して皆様方に配付させていただきます。

まず、初めに、小委員会委員の変更がございましたので、報告いたします。資料1をごらんください。

三島町の米持昭次委員にかわり、新たに棚橋均様が8月1日付で助役に就任されましたので、本日の会議より当小委員会の委員として出席されておりますので、ご報告いたします。

棚橋さん、一言ごあいさつを。

委員（棚橋 均）

ただいま紹介にあずかりました棚橋でございます。この8月1日から就任ということでございますので、前任者同様よろしく願いいたします。

事務局（北谷）

よろしく願いします。

それでは、お手元の次第に従いまして、順次進めさせていただきます。恐れ入りますが、ご発言の際はマイクを使われますようお願いいたします。

この後の議事進行につきましては、豊口委員長よりお願いいたします。

委員長（豊口 協）

それでは、早速でございますけど、議事に入らせていただきます。

今事務局の方からご説明ありましたように、きょうは最終回ということになりまして、いろんな形で多角的なご意見をいただきまして、ようやくここまでまとめ上げることができました。幾つかの修正箇所がございまして、県からの指導等もございまして、それを中に包含いたしまして、最終案とし

てまとめてまいりました。最初に、事務局からその内容について説明をひとつよろしくお願ひしたいと思ひます。

事務局（竹見）

それでは、事務局からご説明をいたします。竹見と申します。失礼ながら座って説明いたします。

それでは、お手元の長岡地域合併協議会第9回会議資料議案編をごらんください。こちらの資料は、あす第9回の会議、法定協議会に提出する資料の形で配付をさせていただきました。2枚おめくりいただきますと、長岡地域新市建設計画（案）という形であります。こちらの今回の建設計画につきましては、今までの小委員会での委員の皆様方からのご意見、あるいは新潟県の事前協議の中での各ご担当からのご意見、あるいは構成市町村からの職員の方々からのご意見をもとに最終的に取りまとめたものでございます。修正の主なものをご説明いたしたいと思ひます。

1枚おめくりください。目次でございますけれども、前回よりも4ページほど増えてございます。基本的な構成は変わっておりません。

続きまして、1ページをごらんください。序章の下の四角で囲ってございますように、「新市地域らしさ価値とは」という形で、こちらの方に説明文をつけ加えております。

それから、第1章に入りますけれども、8ページをごらんください。こちら新市の概況ということで、新市の全体図、それから9ページをごらんいただきますと、中之島上空、それから三島町上空から見る新市の姿という形でつけ加えておきました。追加をしております。

それから、15ページをごらんください。こちら都市計画区域ということで、用途地域などの面積を表とそれからグラフであらわしてございましたけれども、県からのご指摘の中で用途地域の面積が若干違ってございましたので、こちらを修正しております。それから、下のグラフでございますけれども、行政区画の面積に対する割合に修正をしております。

続きまして、同じく第1章の21ページをごらんください。新市の交流する力の右のグラフの一番下でございますが、県外観光入り込み客の推移ということで、下の平成14年ということで最新のデータにかえております。これも県からのご指摘です。

それから、22ページの右下の新市内、県内通勤通学流動の状況ということですが、こちらの凡例の図を少し見やすくしまして、カラーでなくても見やすい形にしております。

続きまして、第2章に移ります。第2章につきましては、当初地域らしさ価値という形で各それぞれの基本方針を紹介してございましたけれども、将来構想と合わせまして「新市」をつけ加えました。

それから、29ページからは地域の夢ということで紹介しておりますけれども、前回の小委員会の中でご意見いただきました中では、いつまでたっても地域ということにこだわられるんじゃないか、そういった心配があるというご意見をいただいたわけなんですけれども、29ページの3番の地域の夢の下の2行、これからの新市建設計画においては、画一的なまちづくりではなく、各地域の特色や資源を生かした、そういった多様性のある地域づくりを進めていく必要がありますという形でまずうたっております。

それをつけ加えました。

それから、35ページをごらんください。これは、35ページ、36ページは新市の地域らしさ価値、四つの地域らしさ価値があるんですけども、それを高めるために、それぞれ各地域の特色や資源を生かしながら、それぞれの力を結集してみんなで地域らしさ価値を高めていこうと、そういったイメージ図を追加させていただきました。

続きまして、第3章です。こちら新市建設計画についてのプロセスなどを紹介している部分でございますが、例えば37ページの右下の方にございますが、新潟県との協議をつけ加えたり、それから38ページ以降につきましては、少し文章を詳しく書いたりしまして、わかりやすいものにさせていただきました。

続きまして、第4章に移ります。第4章は、49ページのリーディングプロジェクトの説明文でございますが、こちらより詳しく説明をさせていただきました。

それから、50ページ以降のリーディングプロジェクトの説明文ですけれども、中の文章表現を統一したり、少し説明を加えたりしてわかりやすいものに仕上げさせていただきました。

それから、同じく第4章のリーディングプロジェクト以外の事業概要ですが、63ページをごらんください。世界をつなぐ和らぎ交流都市の右下から2番目、インターチェンジ整備推進事業がございます。こちら県からのご意見でまだ事業主体がはっきりしていないということの中で、こちらの文章に書いてございますように、まずはこういった長岡インターチェンジの整備に向けて、関係機関との調整を図るという形で修正をさせていただきました。

続きまして、第5章と第6章は特に修正等はありません。

それから、第7章、新市建設の根幹となる新潟県事業でございます。こちらは、71ページをごらんください。河川・砂防整備の文章のところで、上から2行目です。中段ほどにありますけれども、「また、砂防整備では」の次の文章で「土石流危険渓流、地すべり危険箇所、雪崩危険箇所などにおける対策を講じ」と、そういった文章に修正をさせていただきました。

それから、河川改修の事業名で若干事業名の修正がございましたので、正しいものに修正をいたしました。

それから、72ページ、農林業基盤の整備でございますけれども、そちらの一番下の基幹林道のところで、下から2番目ですけれども、当初森林基幹道整備事業としてありましたが、それを森林管理道柵形山線（県営）開設事業という形で修正をいたしました。

あと第8章、第9章は、訂正をしておりません。同じく第10章も特に修正は加えておりません。

それから、81ページでございますけれども、こちら参考資料といたしまして、任意合併協議会からいろいろご検討していただいた長岡地域新市将来構想と、今回ご検討いただきました新市建設計画とのつながりを、こちらのイメージ図という形でまとめさせていただいております。市民の声や思い、そして地域の強み、そして地域らしさ価値、それから建設計画の事業関係、そして市民と行政の基本的なあり

方を1枚のペーパーにまとめさせていただきました。

以上で資料のご説明を終わります。

委員長（豊口 協）

どうもありがとうございました。

基本的なことについての修正その他は、全くと言っていいほどございません。細かい字句の修正とか、新しい資料の挿入等がされておりまして、より内容がわかりやすくなるような形でまとめられていると思いますが、今までのところ1ページ、第1章から始まりまして、何かご質問等がありましたらお受けしたいと思いますが、お願いいたします。

委員（今泉 實）

質問じゃないんでございますけれども、私がお願いいたしたいというのは、第7章、70ページ、新市建設の根幹となる新潟県事業、この中の71ページの河川・砂防整備等についてであります。当然先ほどお話がありましたように、根幹となる新潟県の事業でありますので、県の振興局とヒアリングが当然済んでいるわけであります。しかし、先般の小委員会が、第6回のときに申し上げればよかったんでありますけれども、まだ暗中模索の中で、私どもの水害の後始末がどうこうでなかなかそこまで話が進まなかったと、こういう経緯がございましたので、この際加えていただけるならば、ご承知のように7.13水害における1級河川の刈谷田川決壊に伴う改修事業ということでつけ加えさせていただければ、時間もございません、きょう言っただけというふうなことになると思いますが大変事務局もお困りだろうと思いますが、要望として、この河川改修等については、かれこれ11項目くらいあるわけです。その中で刈谷田川の河川改修というような1項目をつけ加えさせていただければありがたいなと、こう思うわけでございます。もちろん私どもはご承知のようにこの水害で、河川法が変わって1級河川になったのが昭和40年の見直しでなったわけでございます。当然その前に36年、38年、39年と水害、地震等でその後の改修が万全を期してやられたと。その後幾多の水害があったわけでありまして、当時の話では、150から260ぐらいの集中豪雨があっても大丈夫だと、こういう当時の建設省の話でありましたけれども、このたびは400以上の降水量があったということで、ご承知のようにあのような決壊が生じた。確かに決壊が生じてみれば、あの箇所が何回もネックにされてきたわけでありまして、40年間耐え忍んできたという経緯もありまして、安全神話が確立されておったなと思ったんですけども、予想以上の降雨量に耐えられなかったと、こういう経緯が報道されているわけでございます。

そんなことで、大変恐縮なんですけれども、こうしたこれからの計画の中で何とか登載願って、そしてこのことが当然各市町村でこれが承認されれば説明会に入るわけでありまして、たった今の出来事で恐縮なんです。お願いをいたしたいと、こんなことでひとつ要望いたしたいところがございますので、委員長さん、ひとつよろしくお願いいたします。

委員長（豊口 協）

ありがとうございました。

本当に緊急な事態が起きて、ここへ来てそういう問題が私たちの委員会にもかぶってきたわけがありますけれども、これは今まで県との折衝等も含めてどういうふうなことになっているか、その辺ちょっと事務局の方から説明をお願いしたいと思います。

事務局（高橋）

事務局としての考え方なんですが、基本的に災害復旧の事業と建設計画に登載する事業は別なものだろうというふうに考えております。と申しますのは、災害復旧の事業は、これは建設計画に載っていようが載ってまいが、これは緊急にやらなければならない事業、これが災害復旧の事業だろうというふうに考えております。さらに、災害が起きたばかりというふうな状況でございますので、恐らくはこれから刈谷田川の改修をどのような形でやっていくかというきちんとした計画をつくって、その計画に基づいてこれから事業が進められるだろうと思っております。したがって、これからその計画が今すぐという計画にはならないでしょうが、計画ができた段階で、それが建設計画に載せることが妥当であるということになれば、当然建設計画書の変更計画というふうな形で我々としては整理をしていきたいというふうに考えております。ただ、今はまだ災害復旧のどのような形でやっていこうかという、そういう段階で、その計画というのがまだはっきりとしたものがない状況だと思いますので、その状況で建設計画の中に事業名だけを載せるというのは、本来の建設計画の趣旨からは少し離れてしまうのではないかなというふうに考えております。

それから、本来であれば、県の局長さんが小委員会の委員に入っていらっしゃいまして、お話をいただければ一番いいわけですが、本日ご欠席ということですので、もし小委員会の方で皆様方の方でよろしければということですが、オブザーバーという形で県のご担当の方が参っておりますので、県の方のご意見、お考えをもしお聞きするような形でよろしければ、お聞きしてみたいと思いますが、いかがでしょうか。

委員長（豊口 協）

ありがとうございました。いかがでしょうか。

委員長（豊口 協）

それでは、申しわけございませんが、ひとつよろしくお願ひしたいと思います。

長岡地域振興局（高井企画振興部長）

長岡地域振興局の私企画振興部長の高井と申します。

突然のお話でちょっと戸惑っているわけですが、一般論で申し上げますと、建設計画というのは当然こちらの小委員会あるいは合併協議会で策定されるということで、県といたしましては、協議があればそれが新規であれ、変更であれ、いただいた段階で検討させていただいて、ご回答するという段取りになっておるわけですが、いずれにいたしましても具体的なお話があって、それがいただけるということであれば、本庁の方の合併支援課が担当になりますけれども、相談しながらその手続も含めてご回答差し上げるというような形になろうかと思っております。

簡単ですが、以上でございます。

委員長（豊口 協）

ありがとうございました。

委員（今泉 實）

大変どうもご丁寧にありがとうございました。私も余り早急な話でございましたので、大変恐縮であったわけでありますけれども、やはりお願いはお願いとして上げておかなきゃいけないなど。順序は、たった今というわけにもいかないと思いましたので。私ども町でも専門的な調査が入って、そのことの調査がどういう結果に出てくるか、それをどういう方法でやるのかという方向づけがまだ中間でも出てきていないという状況であります。ただ、せっかくの機会でございますので、お願いだけしておこうと。そして、さっき高橋さんもおっしゃったようにこの経緯があるわけでございますので、この回はあすに提案されている内容を検討しているわけでございますので、無理かと思いますが、そういう気持ちをお酌みいただければありがたいし、当然町といたしましても、その調査の結果、その後の方法論についていろいろと検討された後、今振興局の高井さんがおっしゃったようなことで順序を正してお願いに上がるようなことになろうかと思えます。その節は、ひとつよろしくお願いを申し上げさせていただきます、一言お話をさせていただきました。大変どうもありがとうございました。

委員長（豊口 協）

どうもありがとうございました。

ということで、結論、方向としては、後でこれは新市建設計画の修正として記載されるというふうなことがあるかもしれないということで、一応ご理解いただければと思いますが、ありがとうございました。

ほかにございませんか。事前にこれはお手元にお送りしておりまして、お目通しをいただいたと思いますが、非常にわかりやすくなっておりまして、本当に皆さん方の今までのご協力でいいものができたなというふうに私も感じておりますけれども。ほかにはございませんか。

お願いいたします。

委員（野田幹男）

8月の中旬もしくは下旬を目途に県とのヒアリングが終了するであろうということだったんですが、きょうの説明をお聞きした中で、一応県のヒアリングがおりてきて、骨太の部分では皆さんがお出ししたものが基本的に了解されたと、こういうふうに理解してよろしいんでしょうか。

委員長（豊口 協）

基本的にはそうだと思いますが、事務局、いかがですか。

事務局（高橋）

そのとおりだと思います。

委員長（豊口 協）

ほかによろしいですか。

それでは、協議会から付託されました建設計画（案）の策定につきましては、きょうお目通しを再度いただきましたこのような案で、明日の協議会に提案をしていくこととなります。それでよろしゅうございますか。

「異議なし」という声あり

委員長（豊口 協）

ありがとうございました。

皆さん方、大変ご努力をいただきまして、きょうが最終の小委員会ということになります。あした協議会の最終の会ということになります。いよいよ4月1日以降、来年度新市に向けて具体的なスタートが始まるということになるかと思えます。

ほかには何か事務局からはございませんか。

事務局（高橋）

冒頭の説明と少しダブる部分もございますが、今後のスケジュールといたしますか、建設計画を協議会の方に諮っていく内容について少しだけ説明をいたします。

本日小委員会で建設計画書について最終的にご確認をいただきましたので、これをあす協議会の方に、今までは報告事項でしたが、議案として正式に提案をさせていただきます。協議会で承認されました後に再度県に対して、今度法律に基づく正式な協議として県の方へ手続を行います。県からの回答で特にその後意見がなければ、その時点で建設計画書、今は案ということになっておりますが、案がとれまして、新市建設計画書という形になります。

以上でございます。

委員長（豊口 協）

ありがとうございました。

以上でこの小委員会のすべての日程が終わることになりますけれども、副委員長、何か一言。

副委員長（二澤和夫）

大変長い期間でございましたけれども、おまとめをいただきましたことをまずもって感謝申し上げたいというふうに思います。それから、この中の大分のメンバーの方々は将来構想の段階から携わっていただいたわけでございますけれども、特に委員長の豊口先生におかれましては、大変お忙しい中を、将来構想、それから建設計画をまとめるためにご難儀をいただきましたことを感謝申し上げておきたいというふうに思います。

私からは以上でございます。大変どうもありがとうございました。

委員長（豊口 協）

これで最後になるわけでございますが、何か一言どうしてもぜひとも言っておきたいということがおありでしたらどうぞお願いしたいと思いますが、よろしいですか。お願いいたします。

委員（小方 保）

三島の小方といいます。

小委員会がこれで全部終わって、そしてあす最終的な協議会に諮っていくと、こういうことの順序ですが、ありがとうございました。そこで結果的に協議項目の22番目の建設計画を私ども今小委員会はしたと、こういうことではありますが、あすそれで全部終わるとしましても、まだまだ住民が不安、心配している一、二の項目があると思います。直接小委員会とは違うかもしれませんが、例えば14番の一部事務組合の取り扱いについて、これはこのように書いてありますが、合併の枠組みの確定後、関係市町村及び一部事務組合と協議し、すべて解散、脱退する方向、住民への影響を与えないように効率よく処理していくんだと、こうなっておりますが、どのようにその後事務局の方進んでおりますか。相手があることでありますし、特に私ども三島町は一部事務組合が多くあります。ガスの一部事務組合、水道の組合、そして消防、斎場の組合、それからし尿処理の組合と、こうあります。そこで、特に消防、斎場のこと、これらも一日として休んでおるわけにはいきません。今住民への合併の説明に回っております。住民が一番心配しております。本当に合併と同時にいくんだらうか、いかなかったらいけないように、このようなわけで2年間とか当分の間こうしていくんだと、こういうことをしっかりと精をかけて、私ども長岡地域の協議会がやはり先様の方へ手を進めて一部事務組合のその後どうしていくんだと、どこから、日を区切ったならばどの辺になって、どうしていくんだということをやっぱり精をかけてほしいと思います。これがあすの最終にもう一度できたらやっぱり確認をしていただかんと困る問題だなと、こう思います。

それから、もう一つ、地域自治についてであります。やはり地域の特性を生かして行政運営を行っていくという決定はしておりますが、その内容についても町村長、市町村長が研究会設置して、合併後いささかも不安のないようにしていくんだと、こう基礎でうたってありましたが、その後どうなっていて、あすが最後の協議会ですが、しかと会長から説明をいただけるようにできたらお願いしたいなと、こう思っております。よろしく願いいたします。

委員長（豊口 協）

ありがとうございました。

この建設計画小委員会の内容とはちょっと違う内容になっておりまして、全体の協議会の問題として今確認のご意見があったらうと思っておりますが、私が知っている範囲では、それぞれの小委員会、別の委員会でかなり細かいところまで既に検討されまして、一つの方向が出ている。協議会の方でその報告が既に何回かありまして、それぞれの各地域の方々のご了解、そしてご協力は既にできているような気がしておりますけれども、その辺はいかがでしょうか。

事務局（高橋）

直接小委員会には関係ないかもわかりませんが、せっかくのご質問ですので。

まず、一部事務組合についてですが、基本的に協議会で決められた調整方針案どおりの内容でそれぞ

れの関係団体、関係自治体と協議を進めております。方向は、ほぼその方向でいっておりますが、少しお話がありましたけども、時期についてだけ合併時に行うのか、その合併時というのは先方の合併時なのか、こちらの合併時なのか、それからもう少し時間がかかるのか、その期間についての調整を今やっておりますけども、方針としては協議会の決められたとおりの方針で先方と協議を今進めております。これが一部事務組合でございます。

それから、地域自治についてでございますけども、これは地域自治についてだけではないんですが、協議会があす無事に全部終了したとしましても、協議会の後の事務局も含めての検討体制は、そのまま維持をしたいというふうに考えております。したがって、協議会が終了しましても、首長会議であるとか、幹事会であるとか、私たちの分科会であるとか、それは合併日の前日まで残したいというふうに事務局としては考えております。したがって、協議会という場面でなくても十分に議論は尽くして、状況に応じて皆様方の方にお知らせをさせていただくと、こういうことを考えておりますので、この部分をご安心をいただきたいと思っております。

以上です。

委員（小方 保）

ありがとうございました。小委員会と違う質問して本当に申しわけないと思っておりますが、あす全体の会議が最後だということから、本当に住民説明会に回ると住民が一番しているのはここだと思うんです。ただやっている、やっているだけでなく、実際そんなに一部事務組合の会進んでいないらしいですよ、不安がっている。やはり事務局の方からもそれなりに関係するであろう町村、そして相手方の合併協議会にもやっぱり長岡さんが先駆けてやってください。一番心配しているのは、一部事務組合組んでいる三島町なんです。本当に困っておりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。

委員長（豊口 協）

どうも貴重なご意見ありがとうございました。

今度のプロジェクトというのは大変なプロジェクトでございます。それぞれの地域の人たちのお互いの信頼と、そして協調と、そして未来への展望というものがうまくかみ合わないと、なかなかスムーズなコミュニケーションネットワークができてこないわけでありまして、そういうことを前提として、よりよきすばらしい新市のスタートを、それぞれの個々の人たちが心にしっかりと持ってやっていかなくちゃいけないだろうというふうな気がしております。事務局、大変だと思いますけれども、こういうご意見があったということをお含みおきいただいてご検討いただければと思います。ありがとうございました。

ほかにございませんか。

「なし」という声あり

委員長（豊口 協）

それでは、大変長い間いろいろとご協力いただきまして、ありがとうございました。

私も委員長として初めてのこういう経験でございまして、いろいろ勉強させていただきながらやらせていただきました。ようやくここまでまとめることができまして、大変感無量でございまして、心から御礼申し上げたいと思っております。どうもありがとうございました。

これで小委員会を終わりたいと思います。

(散会 午後3時35分)